



ほっとケーキ



令和6年7月

ほっとルーム

第1号では「タイトル募集中」としていたこのおたよりですが、ほっとルームの子どもたちが話し合い、3つの候補をあげてくれました。最終的には「先生が決めていいよ」とのことでしたので、上記のタイトルにしました。

ホットケーキのように、ほかほかで、ふかふかで、しあわせな気持ちになる、そんなほっとルームになるといいなという思いを込めています。

タブレットでつながりました

所属している学級のClassroomとは別に、ほっとルームのClassroomを開きました。

まず、ストリームで、メッセージのやりとりを練習しました。入力に慣れた子は、あっというまにいくつものメッセージを送ります。「できない…」という子も、友達に教えてもらいながら頑張って参加しました。

次に、ほっとルームの教室2つと図書室に分かれて、Meetを使ってみました。マイクのオンとオフの切り替えや、挙手の仕方などを確かめました。

タブレットやアプリを使うときには、ルールやマナーも重要です。

「メッセージを送るときに気をつけることは？」→「いやな言葉をつかわないようにする」

「Meetでは？」→「変な顔とかをしない」「話す順番を考える」

子どもたちとは、現時点で上記のように確認しています。使っていく中で、新たに気付くこともたくさんあると思いますので、子どもたちといっしょに考え、学んでいきたいです。

今回の活動の中で、子どもたちから、「あれ、これって、〇〇さんといっしょにできるよね」と声が上がりました。「学校をお休みしている子とも、タブレットでつながれるよね」と言うのです。子どもたちの「やってみたい」を形にできるように、チャレンジしたいと思います。

ほっとルームのあゆみ

もうすぐ1学期が終わります。開成小学校では、各学期の終業式に『あゆみ』をお渡しし、お子さんの成長を学校と家庭で共有しています。

ほっとルーム通級児童については、学級での学習・生活の様子を担当がみとることができ、それによって観点別評価ができる場合は、『あゆみ』の評価欄に記載されます。しかし、1日をほぼほっとルームで過ごしている、教科学習への参加率が少ない（5割未満を基準とします）などの理由から、担任による適正な観点別評価ができない場合は、『あゆみ』の評価欄は空欄になります。ご承知おきください。

また、今年度より、これまでの「あゆみ」に加え、通級児童全員に『ほっとルームのあゆみ』をお渡しすることにしました。これは、通級児童がほっとルームで過ごしながら、「どのようなことをめあてに頑張ったか」「どのような力を身に付けたか」を保護者にお伝えし、学校と家庭が協力してお子さんを育てていくためのものです。ほっとルームでの努力に対する評価や、担任からの所見をお伝えし、保護者からはげましのメッセージをいただく、というように、双方向でやりとりができるように作成しました。

『あゆみ』『ほっとルームのあゆみ』についてご質問がありましたら、7月16日（火）からの個別面談期間に、担任またはほっとルーム担当（教務：野地）にお問い合わせください。